

## 荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物\*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

\*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物



### 荒川の草花の植栽とたねの収穫準備

#### 上尾市立平方北小学校

9月9日(土)、本プロジェクトに参加している上尾市立平方北小学校で学校ビオトープの管理活動を行いました。当日実施したのは、セイタカアワダチソウなどの外来植物の抜き取りとチカラシバ、ユウガギク、カリガネソウなど荒川の草花の植栽です。

また、同様に本プロジェクトに参加している上尾市立太平中学校科学部の生徒有志も手伝いに来てくれました。児童は、太平中の先輩からコツを教えてもらいながら熱心に外来植物を抜き取っていました。

9月29日(金)には、あらかわ市民環境サポーター事務局と環境サポーターが学校を訪れ、荒川の草花のたねの収穫方法を環境飼育委員会の児童に伝授しました。当日、学校ビオトープで児童は積極的に草花の生育の様子を確認していました。

(写真上) みんなで荒川の草花を学校ビオトープに植え付けました  
(写真下) 学校ビオトープで荒川の草花の生育状況を確認しました



### 身近な自然に思いをはせて

#### 川島町立三保谷小学校

10月4日(水)、サポーター事務局が川島町立三保谷小学校を訪れ、3、4年生を対象に三ツ又沼ビオトープについて紹介をする講話を行いました。紹介したカヤネズミやカワセミなどの生きものに子どもたちは興味津々の様子でした。講話後の質問タイムでは、外来種の数やビオトープを守るために何をしているかなど、子どもたちから様々な質問が寄せられました。

三ツ又沼ビオトープの自然について紹介をしました



いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方が三ツ又沼ビオトープに関わっています。



### 生きものに興味津々 **あげお子ども記者クラブ**

9月30日(土)、上尾市が主催する「あげお子ども記者クラブ」による、2回目の三ツ又沼ビオトープの取材が行われました。内容は「埼玉県の蝶」ミドリシジミの卵探しとトンボの生息調査です。みなさん調査に熱中していました。

取材の結果は、上尾市メールマガジン「AGECO スタイル」(不定期配信)にて配信されますので、ぜひ読んでみてください。



トンボの生息調査を行いました

### 河川の自然を学ぶ **高校生環境学習講座**

9月30日(土)、埼玉県立総合教育センター江南支所主催の「高校生環境学習講座」の一環で、県内の高校生が河川環境を学びに三ツ又沼ビオトープを訪れ、夏場に伸びた外来植物やつる植物の抜き取りなどの保全管理活動や自然観察をしました。

この保全管理活動を踏まえて、10月21日(土)に「川に自然は必要か?」というテーマでディベート形式の意見交換を行いました。参加した高校生からは、川の自然って何だろう? 本当に必要なのだろうか? と改めて考える機会になった、という意見が相次ぎました。



(写真上) 川の自然について議論しました

(写真左) 精力的に保全管理活動を行いました

### 秋の三ツ又で保全活動を体験

### 埼玉県立いずみ高等学校 生物サイエンス科

11月1日(水)、埼玉県立いずみ高等学校生物サイエンス科の2年生が、三ツ又沼ビオトープで実習を行いました。当日は2班に分かれ、外来植物などの抜き取りと竹伐りを行いました。また、荒川の出水で木道が損壊するなど被害を受けており、生徒は自然観察で河川内での攪乱の影響を間近で確認することができました。



サポーターの指導のもと竹伐りを行いました



台風第21号による出水の影響ですれた木道を確認しました



### 【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

### 【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!